

## 林野庁プレスリリース(10月)

間伐推進強化期間の取組(10/1)

平成19年8月豪雨、8月秋雨前線豪雨等に係る災害関連緊急治山等事業の採択(10/4)

澤農林水産大臣政務官の国内出張(10/15)

平成19年度間伐・間伐材利用コンクール10/18に修正(10/15)

緑資源機構の入札監視のための委員会(10/22)

世界銀行の森林炭素パートナーシップ基金への我が国の拠出(10/22)

気候変動に関する非公式閣僚会合の結果(10/26)

緑のオーナー問題検討チームのとりまとめ結果(10/26)

第43回国際熱帯木材理事会の開催(10/29)

林野庁  
一口メモ

## きのこの日

10月15日は何の日かご存じですか。「香りまつたけ 味しめじ」と詠われ秋の味覚として親しまれているきのこが最も多く収穫されるのが10月なので、業界ではその月の中日をきのこの日と定めPRに努めています。

ところでのきのこは秋だけのものと思われてはいませんか。実は、春に多く収穫されるきのこもあります。春のきのこの代表としてしいたけがあげられます。林間のほだ場を利用して自然栽培されているしいたけは、春に多く収穫されます。これらしいたけの大半が乾しいたけに加工されており、年間生産量のほぼ9割近くが春に収穫されています。

しかし、乾しいたけの生産量は年々減少しており、国内需要量の3割ほどになってしまっています。このため、林野庁では原木しいたけ再生プランを作成し復活を図っています。

きのこ類には、体内のカルシウム代謝に関わりを持つビタミンDや免疫活性力を高めると言われている グルカンなどが多く含まれています。秋の夜長にきのこ鍋を囲んでみませんか。



## 編集後記

これまで、森林ボランティアの活動に間伐や下草刈りは必須なこと、と思っていました。しかし、その土地の森林の歴史や知識を自ら学び、それを多くの人たちに伝えることもボランティア活動なんだと実感したとき、どこかが楽になりました。ボランティア活動に参加した方はご存知だと思いますが、間伐や下草刈りなどの作業は重労働で、なかなか大変なものです。心のどこかで、ボランティアは体力ありき、とさえ思っていました。しかし、体力がなくても立派にボランティア活動が行えることに気がついたのです。今回取材した福島県緑の協力隊の活動の一つである緑の案内人という活動は、その土地に興味をもち、正確な情報を人に伝えるというものです。これなら、体力のないお年寄りや子どもでもすぐに参加できます。これを機に、このような山以外で行うボランティア活動にも参加してみよう、と思いました。

## 林野 RINYA 11月号 No.8

平成19年11月15日発行

発行 林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集 株式会社トレイントラックス

東京都渋谷区富ヶ谷1-41-7 クリサンテ1002

印刷 財団法人林野弘済会

東京都文京区後楽1-7-12

<http://www.rinya.ma.go.jp/>